

サウジアラビアにおけるエネルギー管理士認証制度導入に向けた支援事業を行いました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受け、今年度のサウジアラビア向け国際協力事業としてエネルギー管理士認定制度の導入支援を行っています。その一環として、去る8月29-31日、サウジアラビアの省エネルギーセンター（SEEC）の専門家を招き、我が国エネルギー管理制度の概要およびエネルギー管理士の役割、認定制度の概要と実務などについて説明し、工場現場におけるエネルギー管理士との意見交換等を行いました。



サウジアラビア側参加者



専門家会議の様子



集合写真

サウジアラビアでは、国内石油需要の急増や油価の下落などを踏まえ、省エネルギーに積極的に取り組んでおり、我が国は2013年に経済産業省とサウジ省エネルギープログラム（SEEP）との間で省エネルギーに関する実務協力支援が約され、各分野における省エネルギー推進に関する実務的協力を継続的に実施しております。

現在、サウジアラビアでは省エネルギーの着実な推進のため、エネルギー管理に関する体系的な制度構築を目指しており、その一環としてエネルギー管理士制度の導入と認定制度の構築を検討しております。省エネルギーセンターでは、今年度事業としてサウジアラビアにおけるエネルギー管理士の認定制度構築を支援すべく、我が国におけるエネルギー管理士の役割、能力、認定制度など実務的な経験と知見についてサウジアラビアに情報を提供しております。

今回は、サウジ省エネルギーセンター（SEEC）の3名の専門家を招聘し、経済産業省による我が国の政策および制度概要と運営実務解説、また省エネルギーセンターよりエネルギー管理実務およびエネルギー管理士試験制度と実施実務、さらに石油精製工場における現場視察とエネルギー管理者との意見交換、などを行いました。

今後サウジアラビアでは、これらを参考としつつエネルギー管理士制度の導入を進めるとともに、実際にエネルギー管理制度システムを運営するために必要となる判断基準や管理標準などの諸制度の制定を検討することとなっております。